



中部地域包括支援センターだより

『悪徳商法・詐欺について』

暑い日が続いていますが、皆様体調は大丈夫ですか。食欲が減り、動く気力が沸かない。所謂夏バテが辛い時期ですよね。こんな時期は、精のつく食べ物を食べ、頑張って乗り切っていきましょう。

さて、今月は流行りの悪徳商法や詐欺についてのご案内です。1つ目はメールやハガキによる詐欺についてです。『【重要なお知らせ】〇〇ご利用確認のお願い』こんな文面を見たことはありませんか。記載されたURLへのアクセスや電話番号への連絡を誘導しようとするフィッシング詐欺に良く見られる文面です。見分け方は色々あるようですが、1人で抱え込まず家族や友人に相談することが一番の回避方法だと思います。意外と第三者の目で見ると「おかしい」と気が付けるものです。

2つ目は押し買い被害です。市内にも複数の業者の出入りが確認されています。流れとしては「自宅の不用品売いませんか」と突然電話がかかってくる人が多いです。「お願いします」と依頼すると自宅に業者がやってきます。しかし、用意した物品には目もくれず「貴金属ありませんか。今、高く売れるんです。」と家に入り込もうとする流れです。酷いケースでは2名で訪問し、1名が話している間にもう1人が目ざとく貴金属を懐に隠し持ち盗んでしまうこともあるそうです。対策は「知らない業者は家にあげない。」この1点だと思います。

被害を防ぐために家の戸締りをしっかりと行い、近所の方と声をかけあって下さい。古典的ですが、挨拶を行う地区は犯罪者が入りにくいと言われています。

中部地域包括支援センター 社会福祉士 宮崎信一郎

福祉亭からのお願い

福祉亭はNPO法人として新たな会員も募集しております。一般会員会費は年間1000円です。「福祉亭応援団」として、ご参加いただければ有難いです。

なお、法人の皆様には賛助会員としてご支援をお願いしております。

皆様の支えによってはじめて地域での活動ができますので、よろしくご協力をお願いします。

令和5年8月の福祉亭

例年になく暑い夏。如何お過ごしですか？福祉亭の夏休みは、8月10～16日。ご不自由をお掛けしますが、厨房温度は、常に40℃。ポラさんたちにしばし休憩を頂かせてください。

この暑さの中、福祉亭をお尋ね頂くご利用のみなさんには感謝申し上げます。少しずつコロナ禍の影響から抜け出してきております。

近ごろTVの音楽番組は、昭和を盛り込んでいることが多く、高齢期の私たちの楽しみにもなっています。番組制作会社からのオファーで2度福祉亭も取材協力。次回は8月3日(木)19時30分から放送される予定です。福祉亭のみなさんのコメントが採用されるかどうか未定ですが。

そして、先月は、オランダ放送協会の取材、ロンドンタイムズの取材と、海外メディアからのオファーをお受けしました。NTの片隅の福祉亭が取り上げられるなんて、予想もしなかったことです。諸外国に先駆け高齢化が進んだ日本。これまでの社会的な或いは、伝統的な仕組だけでは、持続可能性が望めないことの表れでしょうか？

俳句

・ほろ苦しまった献杯のビールかな

凡中

・亡き父母の思い出めぐる走馬燈

白和

「俳句雨音の会」会員のみなさん

・短夜やテレビを見つつまどろみぬ

沙崙

・青嵐竿のシートを蹴り上げる

光子

・半夏生群生したる売り地かな

量子

・吹き過ぎる風の匂ひや梅雨兆す

太郎

・水溜まり映る世界の梅雨晴間

菊丸

・紫陽花の変化たのもし未来かな

花野

空へ飛べたら

浜崎登志子

星降る夜に
私は大きなバスケットを
両手にかかえて
星が降りそそいでくるのを
待っていたことがある

青春を語り合ったすみさんが
お空へ行ってもう43年
すみさん好きだと言っていた初恋の人も
どこにいるのかわからない

3人の男の子を授かったのに
すぐにお空に行ってしまうて

ひとりの男の子はとてもグレてね
大変だったのよ
もうひとりの男の子は優秀で
今 フランスに住んでいるよ
もうひとりの男の子は
優しい人のところへひきとられて

でもね
グレた男の子は立派になって
お父さんを助けているから
優秀な男の子はフランス人と結婚して
とても素敵な紳士になってね

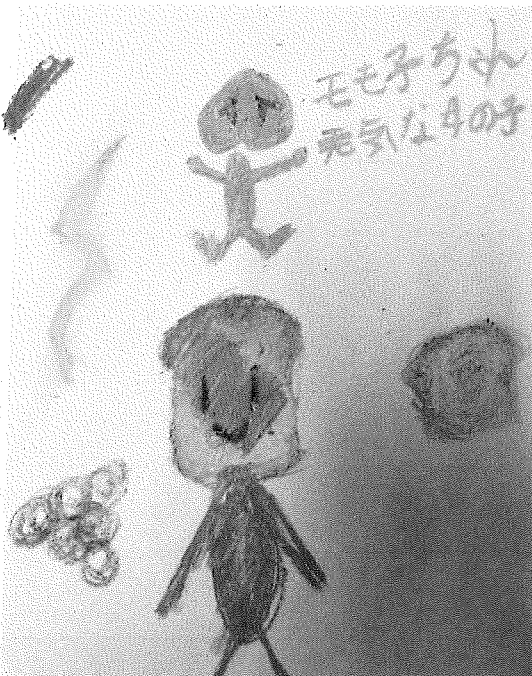
私より健康そのままのすみさん
夜空から笑い声がきこえてくる
夜空を見上げていても
ちっとも退屈しない
ずっとずっと見上げていたい



こども食堂では、毎週金曜日フードパントリーを開催しています。フードバンク「ソスペーゾ多摩」から提供された生鮮食品などを子どもたちに配布するもの。LINEで呼びかけると、子どもや保護者が受け取りに来ます。まだ食べられる野菜や果物、賞味期限ぎりぎりの食品を子どもたちに届けられ、フードロス対策にもなります。

もしみなさんのご家庭に提供できる食材があればお譲りください。「もったいない」の輪を子どもたちに広げましょう。

イラスト: 子ども食堂を利用する子どもたち



パルテノン多摩を運営管理している多摩市文化振興財団の学芸員で『多摩の歴史さんぽ』の著者、橋場万里子さんの講演を聴く機会があった。「多摩川とのかかわりあいを中心に」という演題で昔は水害が多かったという。講演は6月末のことで大雨による水害の被害がニュースになり出していた折からタイムリーな内容だった。

多摩市一ノ宮の小野神社の近くに堰宮神社がある。明治43年の洪水で祠が多摩川の堰に流れ着いたことからその名がある。その時は多摩川の堤防が決壊して地域が水没し、桜ヶ丘にある延命寺から小野神社と九頭龍神社の屋根だけが見えたと伝わっている。九頭龍神社は中世の大洪水の際に川上から流れてきた「九つの頭を持つ龍のようなもの」をご神体として祀ったことに始まるという。以前は多摩川に近い場所にあったが、その後の区画整理事業で大栗川に近い九頭龍公園の一角に移転している。どちらも流れついた漂着神だ。

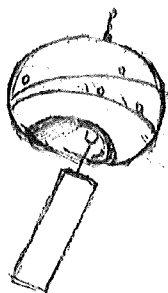
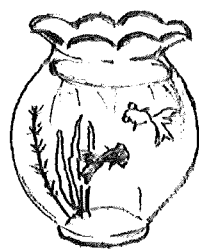
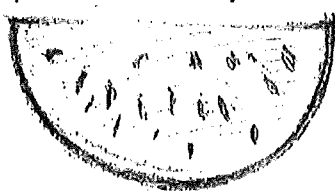

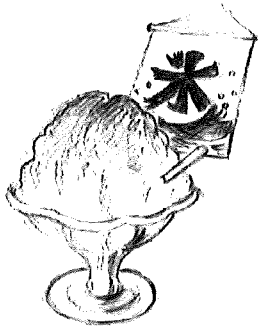
明治43年の水害では多摩川があちこちで決壊した。関戸にある「ろくせぶ公園」の「ろくせぶ」は漢字に変換すると、「六畝歩」となる。約180坪、595平方メートルを示す言葉だ。明治43年の洪水でその辺りに砂利が入り込んだ。地域住民の土地それぞれの境界がわからなくなったため、機械的に6畝歩ずつ割り振った。それで地域を六畝歩と言い、後でできた公園にもその名が付いたという。災害地名になるわけだ。

1704年から明治元年までに起こった洪水の記録が残っている。1704年、42年、54年、57年、58年などと水害が頻繁に起きていた。江戸時代最大の洪水は寛保2年、1742年に発生、河川が決壊する川欠けが発生した。安政6年、1859年の洪水では多摩川の南岸、落川という地域の家々の台所に水が入り込み、床上浸水もあった。むろん地域の住民は手をこまねいていたわけではない。それなりに対策を講じて被害を少なくした。

最近、一ノ宮で見かけた電柱に赤いマークが記されていた。多摩川の堤防が決壊するとその高さまで水に浸かるといふ。多摩市の推定だ。橋場万里子さんの講演を聴き、また『多摩の歴史さんぽ』を読み直し、「災害は忘れた頃にやってくる」という格言を思い出した。



永山福祉亭 2023年8月 カレンダー 毎週月～土曜日ミニデイの日

日	月	火	水	木	金	土
		1 お茶のみ交流 10時～16時	2 いきいき事業 唱歌 14時～ 新井 先生	3 スマホカフェ 14時～ 庄子さん	4 お茶のみ交流 10時～16時	5 お茶のみ交流 10時～16時
6 休業 カラオケの日 13時～ 参加費 300円	7 若人塾 お茶のみ交流 10時～16時	8 お茶のみ交流 10時～16時	9 お茶のみ交流 10時～16時	10 夏季休業	11 休業 山の日	12 夏季休業
13 休業	14 夏季休業 	15 夏季休業	16 夏季休業 	17 スマホカフェ 14時～ 庄子さん	18 お茶のみ交流 10時～16時	19 お茶のみ交流 10時～16時
20 子ども食堂 11時半～ (アレルギー 対応はして いません)	21 お茶のみ交流 10時～16時	22 お茶のみ交流 10時～16時	23 お茶のみ交流 10時～16時	24 スマホカフェ 14時～ 庄子さん	25 福祉亭うたの会 14時～	26 お茶のみ交流 10時～16時
27 休業	28 若人塾 お茶のみ交流 10時～16時	29 お茶のみ交流 10時～16時	30 いきいき事業 唱歌 14時～ 新井 先生	31 スマホカフェ 14時～ 庄子さん		

永山福祉亭 利用可能時間 10～16時（但し、調理業務は15時45分でオーダーストップ）
 カレンダーの予定は多少変更があることがあります。ご了承下さい。定食は日替わりでご用意しております。
 毎日の定食は日替わりのメニューで温かいご飯とおかずと味噌汁がついています。お召し上がり下さい。

永山福祉亭 永山名店街内 TEL 042-374-3201 永山4-2-3-104